

Group Learning 症例 – Rapoport Dr.

スライド1 :

注意 — 予習用のスライドであり、MRI 画像や結果はお示していない。

スライド2 :

Mark Rapoport Dr. Saint Mary's 病院 放射線科医

Alan Rapoport Dr. The David Geffen School of Medicine at UCLA

神経内科 臨床教授

スライド3 & 4 :

症例— 進行性広範性頭痛の患者

- 35 歳男性。教師。
頭痛や他に特記すべき既往歴なし。
- 中等度の広範に認める進行性の頭痛が 3 日かけて発症。
- 痛みは一定で、痛みスケールでは 6/10。
非拍動性で、音過敏・光過敏を伴わない。
- 市販薬の塩酸ナプロキセンにて改善。しかし、4 日目に増悪。嘔吐 5 回。

スライド5 :

神経学的検査

- 眠気、見当識障害、短期記憶障害を認める以外は正常。
- 乳頭浮腫なし。
- 腱反射正常。
- Babinski -/-。

スライド6 & 7 :

鑑別診断は？

画像